

令和7年11月14日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2161)

営業外収益の増加・発生、および営業外費用の増加に関するお知らせ

当社は、令和7年9月期（令和6年10月1日～令和7年9月30日）において、下記のとおり営業外収益（為替差益）が増加、営業外収益（貸倒引当金戻入益）が発生、営業外費用（貸倒引当金繰入額、持分法による投資損失）が増加することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の発生及びその内容
第3四半期連結累計期間では、外貨建て債権債務の簿価と期末為替レートによる評価額との差により、29百万円の為替差益を計上しておりましたが、為替レートの変動により68百万円増加し97百万円の為替差益を計上することとなりました。
2. 営業外収益（貸倒引当金戻入益）の発生及びその内容
第4四半期において滞留していた貸付金を回収したことから、41百万円の貸倒引当金戻入益を計上することとなりました。
3. 営業外費用（貸倒引当金繰入額）の発生及びその内容
第3四半期連結累計期間では、0百万円の貸倒引当金繰入額を計上しておりましたが、連結決算を締める過程において回収が困難と判断される資産を評価した結果、25百万円の貸倒引当金繰入額を計上することとなりました。
4. 営業外費用（持分法による投資損失）の発生及びその内容
第3四半期連結累計期間においては4百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたが、当第4四半期では、主に持分法適用関連会社保有資産の再評価を実施し、連結損益に取り込んだ結果、360百万円の持分法による投資損失を計上することとなりました。
5. 今後の見通し
上記につきましては、令和7年11月14日付「令和7年9月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以 上